

四時ダム ESCO 事業に係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校	福島県立新地高等学校	
対象児童・生徒	生徒会役員 16名	
事前学習	計画	「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」で掲げた、2040年頃を目途に県内エネルギー需要の100%相当以上の再生可能エネルギーを生み出すとした目標を進めているが、その一つに水力発電がある。その施設を調査する。
	期待できる成果	施設を事前に調べることで意欲的に見学する動機づけとなる。
見学・体験学習	計画	ダム ESCO 事業について理解する。 発電量について知る。
	期待できる成果	ダム外灯のLED化やダム管理所内機器の高効率化により、包括的な省エネルギー化が進められ、将来的には、水力発電の売電により、ダムの維持管理費や電気料を賄われることで経費が削減される、または利益を生むことが分かる。
事後学習	計画	配付資料による振り返りを行う。
	期待できる成果	水力発電の理解と水力発電産業を支える人材になり得る契機を与える。